

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)

【公表番号】特表 2020-512409 (P2020-512409A)

【公表日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-016

【出願番号】特願 2020-503376 (P2020-503376)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 36/23 (2006.01)

A 6 1 K 36/28 (2006.01)

A 6 1 K 8/9789 (2017.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 33/38 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 36/23

A 6 1 K 36/28

A 6 1 K 8/9789

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 33/38

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 22 日 (2021.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

局所適用化粧品組成物であって、体積比で前記組成物の 80%～99%の量の基剤と、前記基剤中に分散された

i) 重量体積比で前記組成物の $1 \times 10^{-5} \sim 1 \times 10^{-2}$ の量で存在する、コロイド懸濁液としての銀元素、および

ii) 重量体積比で前記組成物の 0.1%～10%の量の、エキナセア・プルブレア (Echinacea purpurea)、ステラリア・メディア (Stellaria media)、アロエ・ベラ (Aloe vera)、マトリカリア・レクティータ (Matricaria recutita)、ハイペリカム・パフォレイタム (Hypericum perforatum)、カレンデュラ・オフィシナリス (Calendula officinalis)、エキセタム・アルベンセ (Equisetum arvense)、シンフィツム・オフィシナレ (Symphytum officinale)、パナックス・ジンセン (Panax ginseng)、ルメックス・クリスパス (Rumex crispus)、アルクティウム・ラッパ (Arctium lappa)、トリフォリウム・プラテンセ (Trifolium pratense)、ケリドニウム・マジュス (Chelidonium majus)

s)、トウヤ・オッキデンタリス (*Thuja occidentalis*)、ウルティカ・ディオイカ (*Urtica dioica*)、マホニア・アクイフォリウム (*Mahonia aquifolium*)、およびガリウム・アパリネ (*Galium aparine*) からなる群から選択される少なくとも6つの植物由来の植物抽出物と、

からなり、

前記少なくとも6つの植物のうち2つがカレンデュラ・オフィシナリスおよびマトリカリア・レクティータである、局所適用化粧品組成物。

【請求項2】

前記組成物は、水性懸濁液、クリーム、軟膏、噴霧液、ゲル、またはエアロゾルである、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記組成物は水性懸濁液であり、前記基剤は水である、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記植物抽出物は、 $C_1 \sim C_4$ アルカノール、酢酸、グリセリン、プロピレングリコール、蜂蜜、水、およびこれらの混合物から選択される抽出剤に入った抽出物である、先行する請求項のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項5】

前記抽出剤は、水性エタノールからなる、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

前記植物抽出物は、植物材料と抽出剤との重量体積比を1:1~1:12とした植物材料の抽出物である、請求項4または請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

前記抽出物は、抽出剤を含まない抽出物である、請求項1~3のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項8】

前記組成物は、さらに、エキナセア・プルブレア (*Echinacea purpurea*) および/またはハイペリカム・パフォレイタム (*Hypericum perforatum*) に由来する植物抽出物からなる、請求項1~7のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項9】

前記組成物は、さらに、ステラリア・メディア (*Stellaria media*)、シンフィツム・オフィシナレ (*Symphytum officinale*)、および/またはアロエ・ベラ (*Aloe vera*) に由来する植物抽出物からなる、請求項1~8のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項10】

前記組成物は、さらに、パナックス・ジンセン (*Panax ginseng*) に由来する植物抽出物からなる、請求項1~9のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項11】

前記組成物は、さらに、ウルティカ・ディオイカ (*Urtica dioica*) および/またはアルティクム・ラッパ (*Articum lappa*) に由来する植物抽出物からなる、請求項1~10のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項12】

前記組成物は、さらに、ガリウム・アパリネ (*Galium aparine*) および/またはマホニア・エクイフォリウム (*Mahonia aquifolium*) に由来する植物抽出物からなる、請求項1~11のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項13】

前記組成物は、さらに、トウヤ・オッキデンタリス (*Thuja occidentalis*) およびケリドニウム・マジュス (*Chelidonium majus*) に由来する植物抽出物からなる、請求項1~12のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項14】

前記組成物は、さらに、トリフォリウム・プラテンセ (*Trifolium pratense*) およびルメックス・クリスパス (*Rumex crispus*) に由来する植物抽出物からなる、請求項1~13のいずれか1項に記載の組成物。

3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 15】

前記組成物は、さらに、エキセタム・アルベンセ (Equisetum arvense) に由来する植物抽出物からなる、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 16】

請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の組成物を含浸させた、多孔シート。

【請求項 17】

請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の組成物を含む、被覆材。

【請求項 18】

水膨れ、あざ、肌のシミ、日焼け、炎症性おむつ皮膚炎、ペット、火傷、足白癬、虫刺され、失禁に関連する接触皮膚炎、切断された皮膚もしくは開放創傷、および / または皮膚炎（湿疹）の治療に用いられる、請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 項に記載の組成物、多孔シート、または被覆材。

【請求項 19】

家庭用ペットの皮膚および体毛に適用される、請求項 1 ~ 17 のいずれか 1 項に記載の組成物、多孔シート、または被覆材。